

『あいの町大倉山』【V】

- ふれあい・支えあい・助けあい -

わたしたちが 目指すまち

- ・住民一人一人がつながり、互いに助け合うことができるまち 大倉山
- ・すべての住民が新旧の別なく世代を超えて「ふれあい・支えあい・助けあい」、いざという時にも強いまち 大倉山
- ・住民みんなが積極的に地域活動に参加することで築く、健康で住み良いまち 大倉山
- ・地域の力で緑化活動を推進し、桜と草花と緑にあふれたまち 大倉山
- ・高齢者が社会参加する場を設け、健康で充実感のある生活が送れるまち 大倉山

【地区の概況】

大倉山地区は区の中央に位置しており、地区の東側に東急東横線大倉山駅があります。西側は鶴見川に面し、北東側は丘陵地になっています。地区内では共同住宅に住む人が戸建てに住む人よりも多いです。

【人口の特徴】

	世帯数	総人口	0～14歳	15～64歳	65歳以上
R6年9月	12,471世帯	25,345人	3,140人(12.4%)	16,939人(66.8%)	5,266人(20.8%)
H31年9月	12,128世帯	25,332人	3,467人(13.7%)	16,892人(66.7%)	4,973人(19.6%)

第4期計画の振り返り

◆ 今までの取組

子育て支援・青少年の健全育成・健康づくり・高齢者支援等の6つの社会福祉協議会の部会活動や、地域の交流イベントを実施してきました。また地域活動の方向性を定めるために「大倉山夢まちづくり実行委員会」を設立し、町内会・商店街・地域の団体が一体となって住み続けたい町づくりを進めながら、積極的な防災対策を構じています。

「花と緑の町づくり」活動では、各町会や地区内の公園に花壇を創設し、町会・社協・民児協・シニアクラブが連携して町全体での取り組みを常時行い、憩いの場・交流の場を拡充しています。

◆ 地域の現状と課題

共働き世代住民の増加に伴う子育て支援や、児童の見守り活動の充実を図ることが求められるとともに、ますます増加傾向にある高齢者への支援活動をさらに充実させる必要があります。大倉山の住民誰もが世代や新旧を問わずつながり合って、安心して健康で住み良い地域になるような町づくりを目指します。

第5期計画の目標

- ・高齢者は健やかに、子育て中の方は安心して暮らせる、住みごこちの良いやさしい町づくりを進めるとともに、青少年にとって健全な環境づくりを推進します
- ・新旧の住民及び世代を超えた地域住民の交流活動を行い、地域の絆を強めていきます
- ・地域の団体が主催する交流活動に協賛または協働で取り組み、地域を活性化させます
- ・多くの住民が防災を含めたあらゆる活動に参画できるよう、地域の情報を積極的に発信します
- ・「花と緑の町づくり」活動をより強力に推進していきます

具体的な取組

・子育て支援活動



子育てサロンの開催

・青少年の健全育成活動

- ・学校・地域・家庭の3つの代表者が密に連携・協力し、地域の子どもの健全育成のために何を行うかの検討と提言
- ・子ども110番の家の有効な活動を推進
- ・少年少女相撲大会の活動後援



・災害時要援護者支援の取組



要援護者支援対象者をカードで整理

・高齢者・障がい者支援活動



高齢者への家事支援



高齢者向けの茶話会・サロンの開催



元気づくりステーションの開催



障害者施設の自主製品を地域イベントで販売

・地域住民の交流活動



支えあいまつり



さくらまつり



ウォーキング



グラウンドゴルフ等の交流会

・地域団体への支援活動



子育て支援拠点：どろっぶデー



大倉山商店街：ハロウィン



街角大倉山ミエル：シニアサロン



シニアクラブ：「花と緑」の活動

・地域への情報発信

- ・大倉山ホームページ
- ・「大倉山のふくし」を年2回発行
- ・ちらしや掲示板での行事のお知らせ
- ・大倉山子連れお出かけマップの発行



みんなの居場所の運営

計画の振り返り方法

毎月1回開催の「大倉山夢まちづくり実行委員会」にて行います。委員会の構成メンバーは連合町会・地区社協の理事・商店街理事長・地域各団体の代表者となっています。各活動団体へのアンケートを行うことで、地域の活動を見直しています。

活動に関する問合せ

◆ 大豆戸地域ケアプラザ
TEL.045-432-4911 FAX.045-432-4912



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当
TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
◆ 港北区社会福祉協議会
TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561